

参考 伊豆半島のおもな火山噴火・地震年表

年代	噴火した火山（および地震）	噴火・地震にともなう事件
2000～1500万年前	仁科層群の海底火山群	伊豆全体は深海底にあった
1500～1000万年前	湯ヶ島層群の海底火山群	伊豆全体は深海底にあった
1000万年前ころ	大きな地殻変動	
1000～200万年前	白浜層群の海底火山および火山島	伊豆全体が浅い海になる
100万年前ころ	本州への衝突と陸化	伊豆全体が陸地になる
70万年前ころ	伊豆と本州との間にあった海が閉じる	伊豆が「半島」になる
100～20万年前	陸上の複成火山（天城火山、達磨火山、多賀火山、宇佐美火山、蛇石火山など）	天城山の誕生
15万年前	遠笠山（伊豆東部火山群＝東伊豆単成火山群の噴火開始）	遠笠山の誕生
13万年前	巢雲山、高塚山など	巢雲山の誕生
10万5000年前	一碧湖、門野、荻、梅木平など（箱根山）	一碧湖できる。このとき箱根山も大噴火し、伊豆に軽石が降りそそぐ
10万年前	（木曾御岳山）	木曾御岳山が大噴火し、伊豆にも軽石が降りそそぐ
9万5000年前	（鬼界カルデラ）	九州の南沖にある海底火山（鬼界カルデラ）が大噴火し、伊豆にも火山灰が降りそそぐ
8万年前	大原、内野	伊東市役所と東小学校がのる台地ができる
5万7000年前	城星	のちの伊東市民運動場の凹地の誕生
5万2000年前	（箱根山）	箱根山が大噴火し、噴出した火砕流が修善寺や伊東をおそった
4万年前	鉢ノ山	鉢ノ山（河津町）の誕生
2万6000年前	（始良カルデラ）	鹿児島湾の北部にあたる始良カルデラが大噴火し、伊豆にも火山灰が降りそそぐ
2万5000年前	登り尾南	河津七滝（河津町）の誕生
2万2000年前	地蔵堂	万城の滝（中伊豆町）の誕生
2万1000年前	馬場の平、鉢ヶ窪	馬場の平と、のちの伊東スタジアムの凹地の誕生
1万7000年前	鉢窪山、丸山	浄蓮の滝（天城湯ヶ島町）の誕生
1万4000年前	小室山	小室山と、のちの川奈ゴルフ場の台地の誕生
4000年前	大室山	大室山と伊豆高原、城ヶ崎海岸の誕生
3200年前	カワゴ平	カワゴ平の噴火にともなう火砕流・土石流が大見川を流れ下る。中伊豆の神代杉はこのとき埋没した。噴出した軽石は静岡市や浜名湖に降りそそいだ
2700年前	矢筈山、伊雄山、岩山など	矢筈山、伊雄山、のちの赤沢別荘地の台地の誕生
6世紀	（伊豆大島）	伊豆大島の大噴火にともなう大規模な山体崩壊が起き、伊豆の東海岸を大津波がおそった
西暦838年	（神津島）	神津島が大噴火し、火山灰が伊豆や、遠く石川県にも降りそそぐ。この時に大島も大噴火していた
西暦841年	丹那断層で大地震発生（伊豆国地震）	
約1000年前	（新島）	新島が大噴火
西暦1703年	相模湾で巨大地震発生（元禄関東地震）	地震にともなう大津波が伊豆の東海岸をおそった。大島では津波によって波浮港が外海とつながった
1707年10月	駿河湾から四国沖にかけて超巨大地震発生（宝永東南海地震）	地震にともなう大津波が伊豆の西海岸や下田をおそった
1707年12月	（富士山）	富士山が大噴火し、江戸に火山灰が降りそそいだ
1854年	駿河湾および遠州灘・熊野灘沖で巨大地震発生（安政東海地震）	地震にともなう大津波が伊豆の西海岸や下田をおそった
1923年	相模湾で巨大地震発生（大正関東地震）	地震にともなう大津波が伊豆の東海岸をおそった
1930年2～6月	伊東沖で大規模な群発地震	
1930年11月	丹那断層で大地震発生（北伊豆地震）	工事中の丹那トンネルが断層で2m以上ずれた
1978年	伊東沖の群発地震活動が頻繁に起きるようになる	
1989年7月	伊東沖の群発地震にともなう手石海丘が海底噴火	手石海丘の誕生

小山真人 <http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~edmkoya/Izu/ItoShishi/ShishiKen1.html> より

（一部加筆：本火山基本図に表示されている火山を強調しました）